くみあいNEWS

第１５３２８号
2023年9月5日（火）
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区（本部）（54）－3590
堺地区　652990／海南地区（54）－5555

第 54 期 第 1 回中央委員会報告

【日時】9 月 4 日(月)17 時 15 分～18 時 25 分
【出欠】出席 92 名 委任 7 名 欠席 0 名/99 名
【議長】玉井議長

１．仮議長登壇
２．審議事項
（１）第５４期中央委員会議長および
　　部協議会議長の選出に関する件（案）
３．組合長挨拶
４．中央委員会構成役員紹介
５．報告事項
（１）第５４期本部業務分掌について
（２）第５４期青年女性部役員選挙結果について
（３）第１回政治活動委員会報告
６．協議事項
（１）「和歌山労組第５４期運動方針（案）・
　予算（案）」に関する支部会議開催について
７．審議事項
（１）日本製鉄和歌山労働組合
　「第１１回定期大会」議案に関する件（案）
　　・第１号議案　第５４期運動方針
　　・第２号議案　２０２４年度会計予算
８．その他

報告事項３件、異議なく承認
協議事項１件、審議事項２件
満場一致で可決・決定

1. 中央委員会議長（4 名）

氏　名	部　協	支　部	任　期
永田　隆俊	製　鋼	ステンレス	２期目
岡田　英士	和歌山製品	中径製管	２期目
玉井　昌博	海南製品	小径製管	３期目
佐々木　康佑	設　備	エネルギー	３期目

2. 部協議会議長（7 名）

氏　名	部　協	支　部	任　期
本脇　慎太郎	総　務	鋼管技術	２期目
堀田　照章	製　銑	高　炉	１期目
永田　隆俊	製　鋼	ステンレス	２期目
岡田　英士	和歌山製品	中径製管	２期目
玉井　昌博	海南製品	小径製管	３期目
森本　浩司	設　備	製鋼整備	２期目
西野　友隆	堺	設備総務	２期目



【第 54 期中央委員会議長団】
（左から）岡田議長、玉井議長、永田議長、佐々木議長

玉井議長就任挨拶（抜粋）

本中央委員会においては、様々な課題・問題について議論し、審議していただくことになりますので、各々が職場の代表であるということを自覚し、積極的、且つ建設的な発言により、有意義な委員会となるよう、ご協力をお願いします。

今後、中央委員会の報告については、これまで通り、組合 HP への掲示と和歌山労組 LINE 公式アカウントを活用した案内とさせて頂き、さらなる組合ニュースの紙面充実に努めて参りますのでご理解をお願い致します。

第 54 期第１回中央委員会 組合長挨拶


中濱組合長

中央委員の皆様、ご安全に。

この度、和歌山労組第 20 代組合長に就任いたしました中濱です。

まずは、新型コロナウイルス感染症が５月から第５類に移行され、ようやく我々の社会生活や経済活動が日常を取り戻しつつありますが、コロナ禍の３年半の間は、様々な活動が制限される中で、和歌山労組がめざす組織力強化に向け、支部会議を軸に、各支部が主体性を持った活動を展開して頂いた事に対し、あらためて御礼を申し上げます。

９月１日より第 54 期がスタートしましたが、今任期においては、第 49 期以降、歴代の組合長が取り組んでこられた様々な課題・問題の解決、そして、新たな時代を見据えた改革を今一度振り返り、それらを踏襲しつつ更に、深化・発展させていくことが肝要であると考えています。

その上で、和歌山労組が抱える多くの課題について、中央委員の皆さんと共有し、一層のご理解とご協力を賜り、今任期の活動を進めて参りたいと思いますので宜しくお願い致します。

それでは、第１回中央委員会の開催にあたり、今期の和歌山労組の課題、労使の課題、そして中央委員の皆様へのお願いについて、数点申し述べます。

まず、１点目は、「安全と健康」の確保についてです。

我々が会社生活や社会生活を営む上で「安全と健康」が基本であることは、周知の事実であり、この数年間は安全６則が現場に浸透してきたことで重篤な災害は減少傾向にあります。しかしながら、本年、関西製鉄所では不休以上の災害が例年の２倍以上発生し、「非常事態宣言」が出されるなど危機的な状況が続いています。労働組合としても、さらに労使・直協が一丸となった安全活動を強化し災害の撲滅をめざして参りますので、引き続き各支部のご協力をお願いいたします。

また、健康面においては、メンタル疾患、長時間労働による健康障害を防止すべく労使で取り組みを強化する必要があります。とりわけメンタルヘルス対策については、職場内のコミュニケーションが重要な役割を果たすことから、ハラスメント対策も含め、各支部との連携をしっかりと図り労働組合としての役割を果たして参ります。

２点目は、「関西製鉄所の経営基盤の強化」についてです。

労働組合が果たすべき大きな役割のひとつに、雇用の確保があります。関西製鉄所和歌山地区は、「生産設備構造対策」において、第１高炉をはじめ上工程を中心に設備が休止され、今後２０２５年度末までに、薄板工場、第４号コークス炉、小径シームレス西工場の休止が予定されています。まずは、当該職場で働く組合員の雇用と生活の安心・安定を確保すべく全力で取り組んで参ります。そして、現在は世界規模でカーボンニュートラルの実現に向けた競争が激化しており、高炉から電気炉へのシフトや、水素還元製鉄をはじめとする新技術の開発等、鉄鋼産業は大きな転換期を迎えていま

す。この激動の時代を乗り越えていくためには、労使が常に課題を共有し、関西製鉄所和歌山地区における雇用の確保に結びつけることが必要であり、労働組合として職場第一線の皆さんに、今やるべき事をしっかりと分かり易く伝えて参ります。

３点目は、「更なる一体感の醸成」についてです。

冒頭でも申し上げましたが、３年半のコロナ禍の間に、リモートワークの拡大等で働き方改革が進んだ職場もあり、一概に全てがマイナスであったとは言えませんが、非常に多くのものが失われました。その中で我々にとっての大きな損失が、一体感であると感じています。それは、リモートでは補えない部分、職場での会話や懇親会、行事やイベント等に制限がかけられた結果、コミュニケーションの場が欠如したことで、人間関係が希薄になってしまったことが大きな要因であり、その結果がメンタル疾患や離職者の増加、一人作業ではなく複数人での作業時の災害が増えていることにも少なからず影響していると考えます。

関西製鉄所和歌山地区を安全で働きやすい活気ある製鉄所にするためには、職場内、労働組合と会社、直営と協力会社が今まで以上にコミュニケーションを図り、一体感を醸成することが求められています。

近年、関西製鉄所和歌山地区の労務構成も大きく変化し、特に組合員総数の３割強が３０歳以下の青年女性部層となっており、操業整備系の女性組合員も増加していることから、職場のニーズも多様化し、柔軟性を持って対応を図らなければなりません。今期より和歌山労組に初の女性執行委員が誕生したことから、これまで以上に幅広く職場の「生の声」を聴いて実態を把握し、それを基に、先ほど述べた「安全と健康」の確保や経営対策、ＡＰ２４春季取り組み、ワーク・ライフ・バランスの実現、また、政策実現活動につなげて参る所存です。

結びになりますが、和歌山労組第５４期の活動へのご理解とご協力、そして、大きなご支援を賜ります事をお願い申し上げ、今任期スタートにあたってのご挨拶とさせて頂きます。

ご安全に！

＜第54期　第1回中央委員会の様子＞



挨拶をする中濱組合長



青年女性対策部

※第 54 期スタートにあたり、中央委員会構成役員の皆様と、
青年女性対策部より挨拶をいただきました。

第５４期青年女性部役員選挙結果について

青年女性部役員選挙の開票が９月１日（金）本部選挙管理委員会により行われ、青年女性対策部役員全員が信任されました。以下に本部選挙管理委員会が発表した選挙結果を掲載します。

青年女性対策部役員選挙結果

開票日　2023年9月1日　9時00分～9時05分

役　職　名	立　候　補　者	当落選	信　任	不信任	無　効
青年女性部長	南　方　秀　斗	当選	66	1	0
青年女性部 副　部　長	西　地　亮	当選	67	0	0
青年女性部 副　部　長	安　積　俊	当選	67	0	0
青年女性部 副　部　長	中　井　法　可	当選	67	0	0
青年女性部 専門部長	吉　田　旭　洋	当選	66	1	0
青年女性部 専門部長	富　山　比　登　美	当選	67	0	0
青年女性部 専門部長	三　木　佑　真	当選	67	0	0
青年女性部 専門部長	正　木　千　智	当選	67	0	0

A	青女委員総数	68
B	有権者数	67
C	投票総数	67
D	休職者・海外派遣者等	1
E	その他	0

（注：休職者・海外派遣者等は投票免除とする

＊　投票率＝C／B×100

投票率 ＝ 100.0 （%）

2023年9月1日
日本製鉄和歌山労働組合
本部選挙管理委員会　印